

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【平成29年度】

主管課名(担当名)	介護福祉課(高齢者福祉担当)		
事務事業名(事業番号)	老人福祉施設建設等補助事業	事業番号	12188
重点プロジェクト	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	評価時期	<input checked="" type="checkbox"/> 中間 <input type="checkbox"/> 事後
		事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治 <input type="checkbox"/> 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	1-6 高齢者介護の充実
	施策目標	人と人が支え合い高齢者が安心して暮らせるまち

2 事務事業の概要と目的

対象	事務や事業が対象としている人や団体など	老人福祉施設
	対象者の今後の予想	高齢者の増加に伴い、施設入所希望者の増加が予想されます。
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	高齢期を迎え心身の機能が低下しても、できる限り自立していきいきと生活できるよう、また、介護状態になったとしても、必要な支援を受けながら安心して暮らし続けることができるよう、住まい・居住の場を高齢者の身体状況や生活状況に応じて安定的に確保します。	
意図 (どのような成果を得ようとしているのか)	入所待機者ゼロを目指し、必要なときに必要なサービスが提供できるよう施設を整備します。	

3 事務事業の現状

活動指標名	計画値(H27)	実績値					目標値(H32)	目標値(H37)
		H27	H28	H29	H30	H31		
1 施設入所者(1日あたり)	180人	172人	178人	185人			185人	190人
2 施設通所者(1日あたり)	75人	74人	133人	141人			80人	85人
3								
4								
事業費(=下記内訳計)		H29予算		H29決算		H30予算		
		15,916		15,916		5,685		
内訳	国道支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源			15,916		15,916	5,685	
人員(人工)				0.08		0.08	0.08	
職員人件費(=人員(人工)×7,696千円)				616		616	616	
総事業費(=事業費+職員人件費)				16,532		16,532	6,301	
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)				89		89		
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)				117		117		

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	■検討中 □見直し・改善済み □見直しをしたが改善に至っていない □検討していない
見直しの内容など	高齢者人口が増加する中、今後において施設への入所・通所のニーズは高まると予想されるため、適切な施設配置を検討する。
今後の動向・市民ニーズなど	高齢者人口が増加する中、施設への入所・通所のニーズは高まると予想される。

5 事務事業の評価

ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	□結びついている ■一部結びついている □結びついていない 第6期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画において目標とした施設確保の状況は100%の達成率となっている。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか (民間、NPO等)	■可能 □一部可能 □不可能 事業内容が施設入所待機者ゼロを目指し、必要ときに必要なサービスの提供を可能とするための施設整備の補助を目的としている。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	□ある □一部ある ■ない 現在、施設において入所の受入が可能である。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	□ある □一部ある ■ない 施設整備(建設費)を補助しており、事業費を工夫することは不可能である。
オ. 他の事業との統合について可能性はありますか	□ある □一部ある ■ない 各施設への補助であり、施設整備を目的としているため、他の事業との統合はできない。
カ. 受益者に負担をいただく(又は負担を見直す)可能性はありますか	□ある □検討の必要性がある ■ない □既に負担がある 施設整備を目的としているため、負担をいただくことはありません。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	■現状のまま継続 □見直しのうえで継続 (□拡充 □手段を見直す □効率化 □簡素化 □統合・振替) □終期設定あり (H 年度末終了予定) □休止 □廃止 □完了
--------	---

作成年月日

平成30年6月

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【平成29年度】

主管課名(担当名)	保健課(健康推進担当)		
事務事業名	保健指導及び医師対策経費【再掲】	事業番号	86
重点プロジェクト	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	評価時期	<input checked="" type="checkbox"/> 中間 <input type="checkbox"/> 事後
		事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治 <input type="checkbox"/> 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	1-6 高齢者介護の充実
	施策目標	人と人が支え合い高齢者が安心して暮らせるまち

2 事務事業の概要と目的

対象	事務や事業が対象としている人や団体など	市民
	対象者の今後の予想	増加
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	市内で医師として勤務または開業しようとする医学生・研修生及び市内医療機関に従事しようとする医療技術者に対し、修学資金の貸付を行う。	
意図 (どのような成果を得ようとしているのか)	将来にわたる医師及び医療従事者を確保し、医療体制の充実を図るため	

3 事務事業の現状

活動指標名	計画値(H27)	実績値					目標値(H32)	目標値(H37)
		H27	H28	H29	H30	H31		
1 貸付件数(H26実績)	36件	40件	43件	40件			40件	40件
2								
3								
4								
事業費(=下記内訳計)		H29予算		H29決算		H30予算		
内訳	国道支出金	※再掲(事業費は1-2で計上)						
	地方債							
	その他							
	一般財源							
人員(人工)								
職員人件費 (=人員(人工) × 7,696 千円)								
総事業費(=事業費+職員人件費)								
単位コスト実績値 1 (=総事業費÷成果実績値)								
単位コスト実績値 2 (=総事業費÷成果実績値)								

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善済み <input type="checkbox"/> 見直しをしたが改善に至っていない <input type="checkbox"/> 検討していない
見直しの内容など	平成28年4月より、介護従事者の貸付け制度を開始した
今後の動向・市民ニーズなど	資格取得後、市内医療機関等で貸付期間以上勤務することにより、貸付償還の免除規定があることから、保護者の経済的な負担軽減を図れるとともに、意欲ある学生の資格取得を応援できる。

5 事務事業の評価

	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 一部結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	毎年、一定数の貸付者がおり、毎年度の卒業生の7～8割が市内医療機関へ勤務している。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか (民間、NPO等)	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 一部可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 地域医療全体の医療従事者不足の解消を目的としているため
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 一部ある <input type="checkbox"/> ない 市内で就職できる医療機関等に限られていることから、卒業後に希望する就職先がない職種も今後出てくるのが予想される。できるだけ意欲のある学生の資格取得を応援出来るよう柔軟に対応していきたい。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 将来にわたる地域医療全体の医療従事者不足の解消を図ることを目的としており、できるだけ意欲のある学生の資格取得を応援出来るよう柔軟に対応していきたい。
オ. 他の事業との統合について可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 将来にわたる地域医療全体の医療従事者不足の解消を図ることを目的としており、できるだけ意欲のある学生の資格取得を応援出来るよう柔軟に対応していきたい。
カ. 受益者に負担をいただく (又は負担を見直す) 可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 検討の必要性がある <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 既に負担がある 将来にわたる地域医療全体の医療従事者不足の解消を図ることを目的としており、できるだけ意欲のある学生の資格取得を応援出来るよう柔軟に対応していきたい。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続 (<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 手段を見直す <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化 <input type="checkbox"/> 統合・振替) <input type="checkbox"/> 終期設定あり (H 年度末終了予定) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
--------	---

作成年月日

平成30年6月

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【平成29年度】

主管課名(担当名)	介護福祉課(高齢者福祉担当)		
事務事業名(事業番号)	高齢者等緊急通報サービス事業	事業番号	12660
重点プロジェクト	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	評価時期	<input checked="" type="checkbox"/> 中間 <input type="checkbox"/> 事後
		事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治 <input type="checkbox"/> 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	1-6 高齢者介護の充実
	施策目標	人と人が支え合い高齢者が安心して暮らせるまち

2 事務事業の概要と目的

対象	事務や事業が対象としている人や団体など	自宅の解錠を行うなどの協力員の確保が出来ない在宅のひとり暮らし高齢者
	対象者の今後の予想	超高齢化に伴い増加が予想される
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	緊急時、自宅の固定電話に設置した緊急通報装置の緊急ボタンを押すことにより警備会社による駆け付けを行い、必要な対応を行う。 また、定期的に電話による健康相談を実施。	
意図 (どのような成果を得ようとしているのか)	緊急時の迅速な対応により孤独死をなくすとともに、孤独感や不安感を解消できる。	

3 事務事業の現状

活動指標名	計画値(H28)	実績値					目標値(H32)	目標値(H37)
		H27	H28	H29	H30	H31		
1 緊急通報サービス利用件数	20件	—	—	8件			30件	30件
2								
3								
4								
事業費(=下記内訳計)			H29予算		H29決算		H30予算	
			659		117		510	
内訳	国道支出金							
	地方債							
	その他						16	
	一般財源		659		117		494	
人員(人工)			0.1		0.1		0.1	
職員人件費(=人員(人工)×7,696千円)			770		770		770	
総事業費(=事業費+職員人件費)			1,429		887		1,280	
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)			178		110			
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)								

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 見直し・改善済み <input type="checkbox"/> 見直しをしたが改善に至っていない <input checked="" type="checkbox"/> 検討していない
見直しの内容など	ひとり暮らし高齢者に対する緊急時の迅速な対応により孤独死・孤立死の防止を図る。
今後の動向・市民ニーズなど	ひとり暮らし高齢者に対し、親族や近隣住民をはじめとした地域での見守り体制(地域包括ケアシステム)を構築しつつ、本サービスによる緊急時の迅速な対応が重要となる。

5 事務事業の評価

ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	<input type="checkbox"/> 結びついている <input checked="" type="checkbox"/> 一部結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない 警備会社が駆け付けることにより、緊急時の迅速な対応が難しいひとり暮らし高齢者の不安解消となっている。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか(民間、NPO等)	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 一部可能 <input type="checkbox"/> 不可能 民間でも同様のサービスを実施している。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 地域包括ケアシステムを構築しつつ、本サービスによる緊急時の迅速な対応が求められる。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 超高齢化社会に伴い、サービス利用を希望する高齢者が増加することが予想される。
オ. 他の事業との統合について可能性がありますか	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input type="checkbox"/> ない 老人福祉事業との結合
カ. 受益者に負担をいただく(又は負担を見直す)可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 検討の必要性がある <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 既に負担がある 各種在宅福祉サービスと同様に受益者の負担はいただかない。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続 (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 手段を見直す <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化 <input type="checkbox"/> 統合・振替) <input type="checkbox"/> 終期設定あり(H 年度末終了予定) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
--------	--

作成年月日

平成30年6月